

乗務員への指導・監督の記録

実施月日	令和3年10月7日
時間	8時30分～9時30分
場所	北上本店営業所

非公開

非公開

【一般的な指導事項】

- ①事業用自動車を運転する心構え
- ②事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項
- ③事業用自動車の構造上の特性
- ④乗車中（運行中）の旅客の安全を確保（シートベルトの着用等）するために留意すべき事項
- ⑤旅客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項
- ⑥主として運行する経路若しくは、経路又は営業区域における道路及び交通の状況
- ⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
- ⑧運転者の運転適性に応じた安全運転の指導
- ⑨交通事故に関わる運転者の生理的（睡眠不足等）及び心理的要因並びにこれらへの対処方法
- ⑩健康管理の重要性
- ⑪安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法
- ⑫ヒヤリハット体験の報告やや運転にかかる苦情の申し出、又は事故が発生した場合には当該運転者に対してドライブレコーダーにより必要な指導を行う
- ⑬⑫のドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリハット体験を共有する
- ⑭非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導

指導・教育の内容

⑦ 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法
 常に危険を予測して運転する重要性を理解すること。
 事故事例
 バス停から発進時、道に越そうとした乗用車と衝突
 ポイント1 行動特性、天候等の危険を認識
 ポイント2 緊急時の対処方法を周知しておく
 1. 高齢者の特性を知り危険な行動を予測しよう
 キーワード1. 道路端の高齢者 2. 突然横断 3. 動きを監視
 2. 悪天候の山道などではスリップを予測し慎重に運転しよう
 キーワード1. 雨天時の山道走行 2. スリップ事故 3. 「急」のつく運転厳禁
 3. 他車の危険な行動を予測し、車内事故を防止しよう
 キーワード1. 前車に漫然と追従 2. 急ブレーキで乗客転倒 3. 他車の行動を予測

※ 10月の重点管理
 早めのライト点灯とハイビーム走行を心掛ける。

※ 11月が始まる職員健康診断について

氏名	転記	氏名	転記	備考
----	----	----	----	----

非公開

※この教育記録は営業所で3年間保存すること。

